特集3 阿賀野川えとこだプロジェクト × 阿賀野川エコミュージアム 平成24年度 ロバダン!レポート

年間に開催した「ロバダン!(炉端談議)」をまとめました!

1 法幢寺ロバダン
2 麒麟山茶室ロバダン
3 元船頭ロバダン
4 北区お宝探し有志ロバダン
5 元船頭ロバダン2
6 わたげ広場ロバダン
7 北区作戦会議ロバダン
8 すまいる美里ロバダン
9 草倉銅山視察ロバダン
10 松浜商店街ロバダン
11 横越鮭漁ロバダン
12 横越写真ロバダン
13 北区歴史文化ロバダン
14 海老ヶ瀬ロバダン
15 新崎・濁川昔語りロバダン
16 横越上町ロバダン
17 東区タウン誌ロバダン
18 松浜漁業ロバダン
19 高森神楽ロバダン
20 濁川写真ロバダン
21 下山茶の間ロバダン
22 鹿瀬マンマロバダン

1 流域&雑やロバダン
2 森林資源商品化ロバダン
3 村松栗農家ロバダン
4 安田瓦環境学習ロバダン
5 雑や弁当ロバダン
6 マンマベントロバダン
7 天然杉環境学習ロバダン
8 鹿瀬地域旅館ロバダン
9 阿賀町ペレットロバダン
10 上流域&蒸しかまどロバダン
11 濁川環境学習ロバダン
12 安田瓦環境学習ロバダン2
13 松浜ひょうたん池ロバダン
14 旅館交流ロバダン1
15 旅館交流ロバダン2
16 旅館交流ロバダン3
17 旅館&横越漁業ロバダン
18 旅館&松浜漁業ロバダン
19 マンマ&豪華な粗食ロバダン
20 旅館交流ロバダン4
21 旅館&下山蔬菜ロバダン
22 旅館交流ロバダン5
23 マンマ&豪華な粗食ロバダン2
24 マンマ&豪華な粗食ロバダン3

「阿賀の宝もん」から考える地球環境

最終回

「地域の独自性」を大切に生かさないと暮らせなかった昔とは違い、現代では豊かな生活の裏で、世界中の資源を使い続け、地球環境問題が深刻化しています。このコラムでは、流域地域も地球環境もどちらも持続可能なように、忘れられた「流域の独自性」=「阿賀の宝もん」を再び生かせる道を探っていきます。

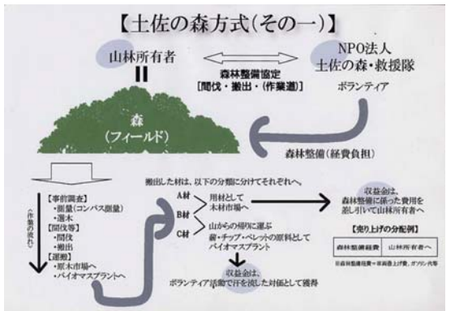
地域やお年寄りを生き生きさせる木質バイオマス燃料の利用拡大

前回(阿賀野川え～とこだより第7号)では、日本において木質バイオマス燃料の活用はペレット、チップ、薪のいずれの形態でも、よほどの好条件が整わなければ経済的に見合うのは困難であると述べました。今回は、日本各地で実践されている、お年寄りの生きがいや地域活性化に繋がる方法で、「薪」を木質バイオマス燃料として利用拡大している事例を紹介します。

副業型自伐林家こそ活きる道 ～NPO法人土佐の森・救援隊～

高知県のNPO法人土佐の森・救援隊は森林ボランティア団体で、「副業的自伐林業の普及」を一番の目的として活動しています。きわめて軽装備で自分で伐採し、その後の搬出を工夫することで、コストが抑えられそのまま収入になるという仕組みです。さらに、建材や合板材としては使えないC材は売却価格が低いため、地域通貨券(モリ券)が上乗せされて支払われます。この集材システムは「土佐の森方式」と呼ばれていて、全国各地に広がりつつあります。

土佐の森方式(土佐の森・救援隊関連ブログ「四万十通信」より)



過疎化・高齢化が進む村で拡大する「薪」燃料の利活用 ～福島県鮫川村～

福島県の鮫川村は人口四千人あまりの小さな村で過疎化、高齢化が進んでいます。村が推進している「鮫川村バイオマスタウン構想」の一環として木質バイオマスの利活用に取り組んでおり、まず公共施設(食品加工施設、自然体験を実施する施設など)に「薪ボイラー」を導入して、このボイラーで風呂や厨房の給湯を行うことにより、薪の需要を生み出しました。そして森林組合、農家、薪炭店などと連携して、村内に薪を安定して供給するための「薪ステーション」を設置して、そこに薪を集材するシステムを構築しました。買取価格は広葉樹の薪は1kg当たり8円、針葉樹の薪は1kg当たり5円で、決して経済的には割の良い価格ではありませんが、村民が自分で山に入り自分で山を整備して多少のお金になることで、地域の人たちのやりがいに繋げていこうと考えています。

阿賀野川流域でも木質バイオマス燃料の利用拡大を期待

阿賀野川流域でも、このように地域の活性化やお年寄りの生きがいづくりに繋げるやり方で、間伐材や林地残材等が多い上流域の森林資源を木質バイオマス燃料として有効に活用できれば、流域の再生に大きな力となる上に、森林の整備が進んで地球温暖化の防止にも貢献できます。

流域においては、地域の人々やお年寄りを巻き込む活動にはまだ至っていませんが、木質バイオマス燃料の活用を進める潮流は出てきています。さらに、鮫川村に導入された薪ボイラーを製造・販売する企業が実は阿賀野川流域に存在していることも、流域において木質バイオマス燃料の活用を推進する後押しになると期待されます。

阿賀野川え～とこだプロジェクト事務局